

これから男性と女性の英語での会話を放送します。
この2人の会話のあとに続く英文として最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけなさい。

リスニング問題
(英語での問いかけに対する適切な応答)
通過率 39.2%

- ☆ Excuse me, Ms. Kimura.
- ★ Yes.
- ☆ Can I use your bike?
- ★
- A : Thank you.
- B : You're welcome.
- C : Yes, I can.
- D : Sure.

	解答類型	割合 (%)
○	D	39.2
×	A	3.3
×	B	4.6
×	C	52.6
×	上記以外の解答	0.1
—	無解答	0.1

・ 依頼としての **Can I ~?** に対して、**Yes, I can.** と答えた。

・ 「**Can I ~?** に対しては、**can** で答える」というパターンで捉えている。

活動のつながり

【小学校外国語活動】

コミュニケーションに関する事項
 ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
 ・積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

【中学校外国語科】 聞くこと

・質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

第5学年

コミュニケーションの働きの例

「好きなものを伝えよう」
 Thank you.
 You're welcome.
 (Hi, friends! 1L4)

第6学年

コミュニケーションの働きの例

「オリジナルの物語を作ろう」
 Here you are.
 Thank you.
 (Hi, friends! 2L7)

中学校第1学年

言語の働きの例

A: Can you close the door?
 B: Sure.
 A: Can I use your camera?
 B: I'm sorry, you can't.

中学校第2学年

言語の働きの例

A: Would you like anything else?
 B: No. That's all. Thanks.
 A: Could you tell me the way to the station?
 B: Sure.

中学校第3学年

言語の働きの例

A: Could you tell me how to get to Fukuoka Airport?
 B: Sure.
 A: May I take your order?
 B: Yes, please.

提案 日常の場面を設定し、場面にあったやりとりを考えさせましょう。

- 相手からの質問や指示、依頼、提案等の場面の設定を工夫し、相手の意図を正しく理解し、適切に応じることができるようにしましょう。例えば、「Do you have a pen?」という問い掛けは「ペンを持っているかどうか確認したい」場面や「ペンを貸してほしい」場面が考えられます。場面や状況によって、**相手の意をくんで**応答させましょう。

(例) ① **Do you have a pen?**
 — **Yes, I do. / Sure, here it is.**

“Yes, I do.” “Sure, here it is.” のどちらを使った方が、尋ねた相手の気持ちに応じることができるかしら？

先生に学習道具の確認を問われている場面だったら、「Yes, I do.」と答えるだろうし、友達に貸してほしいと依頼している場面だったら、「Sure, here it is.」と言ってペンを差し出す方がよいと思います。



- ② Can you open the door? — Yes, of course. / Sure. / OK.
- ③ Shall I take you to the station? — Yes, please.
- ④ Why don't you have dinner with us? — Thank you! I will.
- ⑤ Would you like something to eat? — No, thank you. I'm full.